

夏の フ。 ラ ン

10SEN



特 252
271

松波治郎著

山の情緒

海の情緒

避暑地百話

コースは？

時間は？

費用は？

3
4

始



持252
271

目次
山へか、海へか

大百姓家の感じ.....

七澤温泉

(三)

湘南線鎌倉街道へ.....

別所温泉

(五)

京成電車で東京灣の絶好地へ.....

屏風浦海水浴

(一〇)

房総線の水の魅力.....

富岡八景

(一三)

船橋海岸

(一三)

谷津同海水浴場

(一三)

稲毛同海水浴場

(一三)

千葉同海水浴場

(一三)

姉ヶ崎海水浴場

(一三)



總武本線海の色

木更津海水浴場
保田同
富浦同
北條同
根本同
勝浦同
一宮同
片見同
鴨川同
太海同
天津同
小湊同
上總興津同
御宿同
大原同

(一八)

常磐線の風趣

飯岡海浴場
銚子同
黒生、海鹿島、大若同
波崎同
大洗海水浴場

(二二)

湘南地方

阿漕海水浴場
久慈川同
助川同
河原同
鮎川同
川尻同
高萩同
高萩同
大津の濱同
扇島同
逗子同
由比ヶ濱同
片瀬同
鶴沼同
大磯同
茅ヶ崎同
小田原同
奥武蔵野
名栗ラヂウム
富岡温泉
岩蔵温泉

(二四)

山の魅力武蔵野線

(二五)

大山の靈峰地……………(二八)
日光をめぐつて……………(一九)

東武電車線……………(三一)
湯日中……………(一九)

鬼怒川温泉……………(三一)

鹽原の勝景……………(三一)

那須の硫黄泉……………(三一)

伊香保の夏……………(三四)

妙義と赤城……………(三五)

お湯の中にも華……………(三七)

四萬、湯川、日向見の三川……………(三六)

富士五湖の涼味……………(三九)

奥多摩溪谷
武州御嶽
高山不動
子ノ權現

中禪寺湖
日光

鬼怒川温泉

鹽原の勝景

那須の硫黄泉

伊香保の夏

妙義と赤城

お湯の中にも華

四萬、湯川、日向見の三川

富士五湖の涼味

温泉と特效……………(四一)
精進湖
本栖湖

磯部温泉
湯本温泉

淺虫同
遠刈田同

花巻同
湯野同

飯坂同
澤渡同

吉奈同
修善寺同

長岡同
古奈同

伊東同
湯河原温泉

清閑な温泉郷……………(四六)
伊豆山の鹽類泉……………(四六)
現今の唐人お吉……………(四七)

奥伊豆を突く……………(四八)

蓮臺寺 温泉

大津 同

河津 同

船原 同

湯ヶ島 同

土肥 同

戸田とは、へだ……………(五〇)

戸田 海水浴場

箱根總まくり……………(五一)

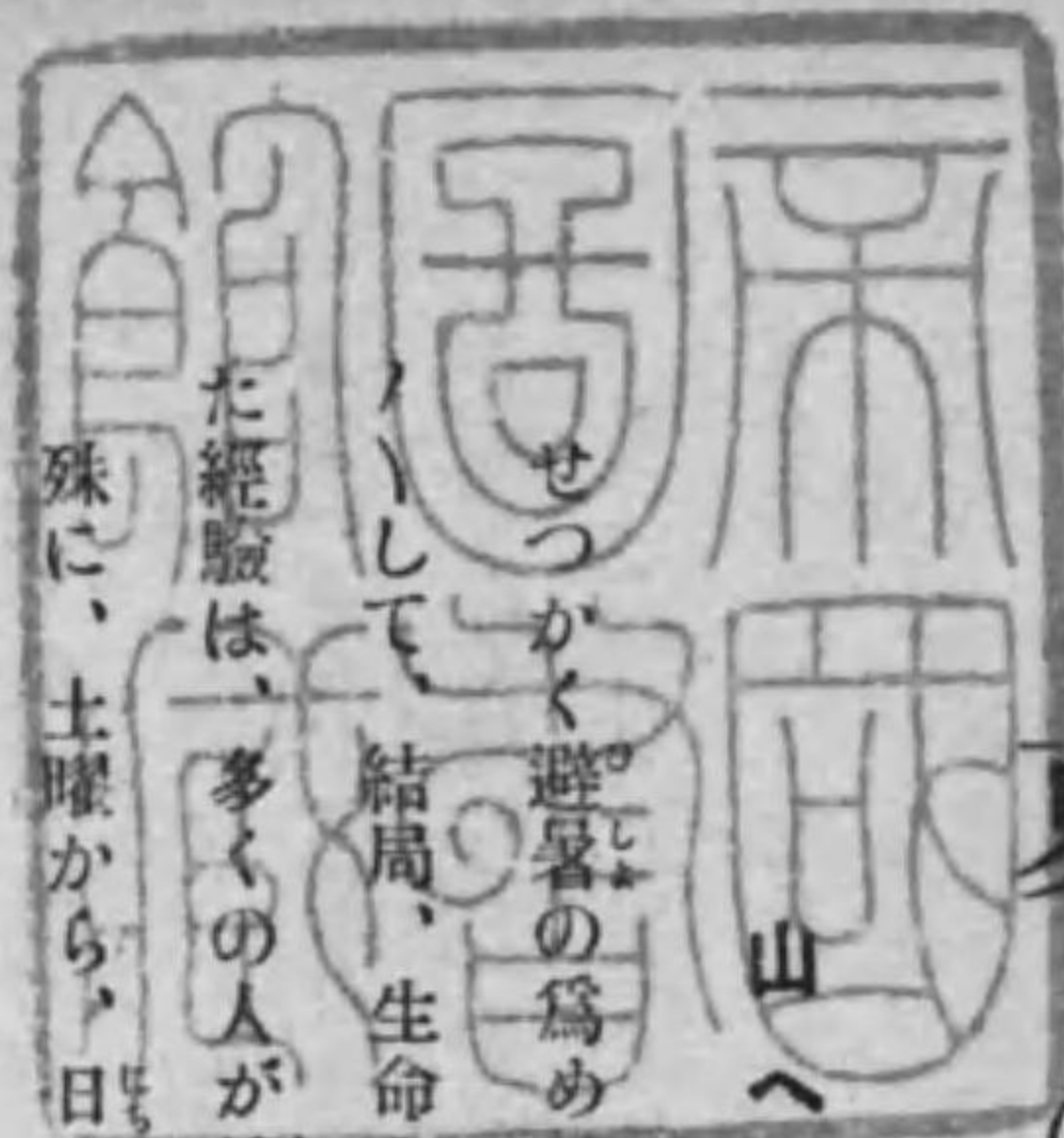
奥多摩の奔流……………(五三)

秩父赤壁―長瀨……………(五四)

三峰山の社殿……………(五五)

ブールの場所……………(五六)

夏のプラン



山へか、海へか、

せつかく避暑の爲めに旅行したが、温泉は混雑し、避暑地は餘りの多勢の客のために、わんとして結局、生命かけて東京へ歸つて来て、自宅に居た方が、よほど涼しかったと嘆息した経験は、多くの人が持つて居る筈だ。

殊に、土曜から、日曜にかけて、家族奉仕と、銷夏の爲めに近郊へ出かけて、返つて、疲れと、苦難とを味つた人も、なか／＼に多い。

これは、つまり、自分の要求と、行く土地とを、ぴつたりと合はせないからで、最初から、避暑、銷夏の目的、經濟、氣分に適合した土地を選定しなかつた誤りである。

一概に避暑と云つても、此の夏の味を満喫したい爲めに、海岸の熱砂を踏み、怒濤を蹴りたい。そして顔を太陽に、やかせたい人と、もしくは、たゞ静けさと、涼しさと、自然界に浸りたい希望の人と、又は、子供の爲めに、一夏を健康の素地を作りたい考への人と、消極的と積極的部分的と、逃避的、いろ／＼ある。

しかも、それ／＼の希望に應ずべき場所は澤山あるのである。小人數の爲めの場所、多勢の爲めの場所、食事のうまい處、たゞ田舎趣味を掬うだけの處、それに、滞在的、一時的と、豫め、よく調べて行くべきである。

それに、かう云ふ夏を利用して、新らしい土地のエキスを味ふと云ふ事は、實にいゝことで有名な場所、もとより悪くはないが、無名の場所、大して有名でない處に、避暑の土産話となるものが多い。

その上、折角行つた土地の知識がないのは淋しいことである。で、以下、つとめて新避暑地を紹介し乍ら、その名勝古蹟をも併述することにする。

大百姓家の感じ

七澤、別所兩温泉

先づ、ごく経費を簡單にし、一夏を東京にも近く、銷夏の目的を達せられる場所として

七澤温泉

別所、煤ヶ谷温泉がある。

新宿から二時間、小田急の厚木で降車してもよし、伊勢原でもよい。伊勢原で降車して乗合自動車に乗る。二十分で七澤、二十五分乃至三十分で別所煤ヶ谷温泉に行ける。

此の兩温泉とも、大山山麓である。

湯は、アルカリ性で、多少薄墨色を呈して居るが、その肌ざはりの滑らかなこと、浴後の心地のよいことは大したものだ。

此處は、既に男女混浴である。

七澤温泉の方は、旅館が二つあり、特に、その一方は離座敷もあつて、趣に富んで居る。閑

村の中の温泉、まるで、廣々とした田舎の百姓家の感じであり、地方から上京して、久しく郷里と云ふものに接する機會のなかつた人々には、絶好の懐しみを覚えさせる。

別所温泉の方は、一名煤ヶ谷温泉とも云ふ。此處にも旅館が二軒ある。いづれも溪流に沿ふた、長谷川伸作る處の脚本の舞臺に現はれるやうな味のある田舎味まる出しの造作で、非常に落ちつく。

先づ、一泊の賃錢が、一圓から一圓五十錢程度、七澤とて、一割高い見當に豫算を立てれば間違ひはない。食物は、何と云つても相模川の上流、むかし、相模川は小鮎川と云つた位で、川魚は豊富だ。それに山のもの、わらびとか、山の芋とか、俳諧趣味の多いものだ。

晝間の静けさと涼しさは云ふ迄もない。夕暮から、相模川岸の橋に立つ、せむらぎの音、月、森、それに大山を望む邊り、何とも云へぬよさがある。家族連れには絶好の、俗化しない銷夏避暑地だ。

夜は、村の人達が湯浴に来る。その話の面白さ。賑やかさ、退屈では決してない。

時に藝妓を呼んで歡を盡したい人は厚木から呼ぶのだ。すると厚木藝者は、七澤、別所へ來ると、のう／＼すると見えて、時間などお構ひなしで遊んで行く。

とにかく、東京近郊には珍らしい鄙びた、静けさと風趣を愛する人にはいゝ所である。人の心も穏かだ。

鎌倉街道へ

海で最も簡易な避暑をしやうと云ふなら、以前の屏風浦、現今の横濱市磯子區森町附近がよい。東京へ一時間以内だ。

森町から、更に金澤、富岡方面にかけて、借家賃は、東京の郊外より、ずっと安い。それに東京との交通は、裏に湘南電鐵があり、海岸に横濱驛行きのバスが通つてゐる。

■屏風浦海水浴

東京から二時間である。磯子に、磯子園がある。直木三十五の愛人が經營してゐるのだ。此處の浴場は素晴らしいものである。

有名な杉田梅林は直ぐ近くであり、鎌倉時代以來の老樹が多く、養老梅、珠簾梅、松北梅、照水梅等の名木がある。

此の地方は源氏の發祥地であり、白旗の地名さへ残されてある。海苔、貝類、ひらめ等が溢れ、しかも海は頗る遠淺で、子女の水泳に適してゐる。花柳界もなかく、熾んである。

杉田海岸迄の湘南電鐵賃金は片道五十四錢である。

富岡海水浴場

杉田海岸傳ひの道路で、富岡へ出られる。杉田から乗合があり、又、湘南電鐵によれば五十九錢、閑靜な漁村で、温室園藝家が頗る多い。

金澤八景海岸

此處には金澤八景がある。九覽亭から眺めた景色のよさは興盡きぬものがある。

金澤八景とは洲崎晴嵐、瀬戸秋月、小泉夜雨、乙船歸帆、稱名寺晚鐘、平潟落雁、野島夕照、

内川暮雪を云ふので、古來近江八景と共に名高く、九覽亭から遠く追濱の飛行場が見える。これは景色が支那の西湖に似て居ると云ふので大明の心越禪師が八詠を賦したのに始まつたので能見堂には名畫家巨勢金岡が八景を寫さうとして、自然の景勝に讚嘆する餘り、筆にする事が出來ず遂に擲つたと云ふ筆捨松がある。

九覽亭と云ふのは此の八景と能見堂とを併せて見る事が出来るので名があり、稱名寺の寺域には有名な金澤文庫跡がある。一體此の稱名寺は、文永六年北條實時の志願で、其の子顯時の建立したもの、此の二人の墓もある。

此處は一方海水浴と共に、舟遊の絶好地であり、殊に風雅の心を持つものに充分の満足を与える處である。

湘南の片道賃金は六十四錢、驛から東五丁で八景に達する。

尚、湘南線には、

馬堀海水浴場

がある。湘南馬堀驛前、賃金は九十四錢である。

此の馬堀海岸の近くに走水神社がある。此の走水神社こそは、日本武尊をお祭りしてあり、妃弟橋姫が海神の怒りを静めん爲めに入水し給ひ、漸く荒き風浪を冒して、日本武尊が安着し給ひし記念の土地である。

●久里濱海水浴場

も此の沿線で、湘南浦賀迄九十九錢、それからバスがある。

●三崎海水浴場

久里濱の先きである。浦賀から三崎迄バスがあり片道全部で一圓八十五錢、東京から二時間以内で達する。

一體東京人の食する魚類は多くは此の町から出るのである。城ヶ島を向ふに控へて、海波は静穩、鎌倉や江の島の島の雑沓を厭ふ人には良い避暑地である。町の北に三崎城址がある。これは弘治二年北條氏康が里見義弘と戦つて落城した處である。

城ヶ島は燈臺があつて、民家が百餘戸ある。城ヶ島は昔は尉ヶ島とも云つた。島の名の起りは「昔城廓があつたから」と云ふのと「昔、此島に尉が住んで居たから」と云ふのと二説ある。頼朝公は此の島で櫻狩りをしたことがあり、戦國の世には此の島は海軍の衝突地として、小田原の北條と安房の里見とが、しばしば戦つた。

雨が降る／＼城ヶ島の磯に

利久鼠の雨が降る

と野口雨情に詠はせた處、風情見るべきものがある。

三崎は源頼朝愛好の土地であつた。しかも健康地であり、外人を相手とする横濱の本牧ガールは此の地出身ならでは、駄目だとさへ云はれて居る。

臨海實驗所もある。動物學に興味を持つ人の正に垂涎すべき避暑地だらう。

●逗子海水浴場

湘南電鐵の終驛である。餘りにも有名な逗子、夏期は、ごつた返しの混雑する逗子ではある

が、その返子で訪ふべきは六代御前の墓であらう。

六代御前は平維盛の子息であつて、武州高尾山に居たのを、源頼朝が返子へ呼び、岡部泰綱に命じて斬らせたのである。奢る平家の末路、公達の哀れな最期こそ一掬の涙を注ぐべきである。

更に、返子も、笠指から日蔭の茶屋邊りへ來ると静かである。更に、バスに乗つて葉山へ行くのも宜しい。

畏れ多くも葉山には御用邸がある。

東京灣の絶好地——京成電車沿線

轉じて、東京灣に面した避暑地を探る。

先づ京成電車の沿線である。

●船橋海岸

上野驛から四十一分、京成船橋驛より三町、片道の運賃三十八錢である。海岸の砂遊びには

絶好の地である。

●谷津海岸

上野驛から四十七分、賃錢四十六錢である。

此處には京成電車の經營する境域三十萬坪の谷津遊園地がある。大プール、寶龍閣、樂天府、龍神宮、大鳥舎や、猿小屋や養鶏場、それにラヂウム温泉浴場がある。

しかも鯉の釣堀がある。りに、海魚の釣堀があり釣天狗の自慢の鼻を蠢めかすに足る處である。

●稻毛海水浴

稻毛は谷津の先きであり、上野から五十九分、片道賃錢六十錢。

此處は海に近く、松林の翠綠深く、海は遠淺であつて水は綺麗、しかも波頗る穏かである。

先づ、東京灣中第一の海水浴場と云へる。此處に海氣館、東京館などの大規模の旅館があり避暑客の便宜を計つてゐる。

この松林中に淺間神社がある。

千葉海水浴場

上野から一時間と七分、片道賃錢六十四錢である。兩國からは四十分、片道五十八錢である。千葉神社には、天照大神、寒川比古神、寒川比賣神の三柱を祀り、時平社は菅原道真を護したので著名な藤原時平を祀り、大日寺は、城主千葉家の菩提所で、千葉神社に隣接し、境内に千葉常胤以下十六世の墳墓がある。又、千葉寺は坂東三十三所の一で、海上山觀音院と稱し、和銅二年の創立である。

此處に君待橋と云ふのがある。千葉寒川の長洲にある一小橋であるが、昔藤原實方が奥州へ下向する時、この橋畔を通つて、

寒川や袖思が浦にたつ煙

君を待つ橋身にぞ知らるゝ

と詠じたのに此の名を得たと云ふ。又治承年間に千葉介常胤が、源頼朝を此の橋の上で迎へ

た時、頼朝は

「此の橋の名は？」

と問ふた。すると常胤の末子東六郎太夫胤頼が進み出て、

見えかくれ八重の汐路の待橋を

渡りもあへず歸る船人

と詠じた。それで君待橋と云ふやうになつたとも傳へる。どちらがどちらか知らぬが、とにかくに風雅な傳説である。

房總線の水の魅力

今度は房總線によつて先づ

姉ヶ崎海水浴場

である。兩國驛から片道九十錢、一時間半尠しで達せられる。

此處の姉ヶ崎神社は風神級長戸邊命、天兒屋根命、大雀命及び日本武尊が祭神である。

附近の鳥穴神社、橋神社、みな日本武尊の御東征の古事を偲ぶに床しさを感ぜせしめる。

■木更津海水浴場

木更津驛から五町であり、兩國から片道一圓十四錢、恰度二時間で達せられる。

遠浅であつて、魚はうまし、葱や蓮根もうまい。

一體木更津の名が起つたのは、日本武尊の妃弟橋姫が、海神の暴風の前に身命を棄て給ふて御屍體が此處へ漂着したからと云ふので、それを祀つて吾妻神社がある。が、日本武尊は弟橋姫の亡きを悲しまれ、戀々此の地を去る能はず、それで「君不去」と呼んだのを後に轉じて木更津と云ふやうになつた。

更に、この木更津は「斬られ與三郎」の芝居で有名になつても居り、一種の面白さが横溢してゐる。

■保田海水浴場

兩國から片道一圓六十三錢である。三時間で到れる。

■富浦海水浴場

兩國から一圓七十九錢である。

この邊りから那古船形にかけて、呑氣な漁村の海水浴場である。

那古寺観音は、行基菩薩作の千手観音像であり、那古寺は那古山の中腹にあつて、男坂と女坂とがあり、鏡ヶ浦の全景が眺められる絶佳の地である。

■北條海水浴場

安房北條驛から三丁、兩國から約三時間半で片道賃錢は一圓九十八錢である。館山灣に面し沖の島の飛行場を眺め、食物も豊富、いゝ避暑地である。

こゝから洲崎の燈臺を廻つて、いよ／＼太平洋岸へ出ると、

■根本海水浴場

がある。これは北條と比較して浪が荒く、白馬岸を嚙んで、若人の爽快を覺える土地である。

■勝浦海水浴場

太平洋の荒浪を八幡崎で防いだ内海、兩國から三時間、片道一圓六十二錢である。海邊一帯を楠濱と云つて、オゾンに富み、空氣の清澄さは素晴らしい。

●一宮海水浴場

矢張房總線上總一宮から東二十町、兩國から片道一圓二十五錢である。

●片貝海水浴場

房總線の東金驛から九十九里軌道で、東へ二里二十町行く。兩國から片道一圓三十三錢である。

片貝も一宮も九十九里濱であつて、魚類は豊富であり人心は朴訥であつて、生活は安易、呑氣な避暑地と云へる。此の地方を廻る夏芝居、むしろ小屋の風趣も捨て難く、月に踊る盆踊りを白砂の間に見るのも面白い。それに野菜も豊富であり、些か不便ありと謂へ共、長らくの滞留に田舎情調を満喫するには正に適當の地である。

●安房鴨川海岸

兩國驛から片道二圓二錢。五時間以内で達せられる。

●太海海水浴場

兩國から勝浦廻りで片道二圓六錢である。

●安房天津海水浴場

兩國から一圓九十二錢。

●小湊海水浴場

兩國から一圓九十錢。

●上總興津海岸

房總線上總興津下車、兩國からの片道料金一圓八十錢である。

●御宿海水浴場

兩國から一圓六十一錢。

●大原海水浴場

兩國から一圓四十九錢。
それ／＼勝浦廻りの皆閑靜な漁村風景を展開した靜かな海水浴場である。

總武本線海の色

總武本線、飯岡から五丁で

●飯岡海水浴場

がある。兩國から片道一圓六十三錢で、海水が百丈の絶壁に激する態は壯觀ではあるが、海水浴には適しない。

●銚子海水浴場

銚子から海岸迄五丁、一圓八十五錢である。

●黒生、海鹿島、犬若

は、いづれも銚子、外川迄の沿線の各所で、兩國から片道が二圓五錢。

●波崎海水浴場

は銚子から渡船で對岸に達するのであるが、兩國からの片道賃金は一圓八十五錢である。これ等は銚子迄兩國から三時間かゝるので、それに少しの時間を加へればよい。

此の地方は本州の最東端で、なか／＼の荒海である。砂濱にも巨岸が突兀として、打ち寄せらる波が白く高く散るさまは壯觀そのものであるが、貝を拾つたり、潮を浴びたりして、夏の日を過すには實にお誂向きである。

銚子には坂東順禮第二十七番の靈場である飯沼觀音がある。その寺の後の丘の上に、俗に白紙大明神と云ふ川口明神社がある。この神社に祈ると、容貌の醜い婦女も利生があると云ふのでさう云ふ婦人の參詣が盛んである。

そして亦、此の地は安部晴明の戀人が、自ら海中に投じた遺跡でもある。瀧川一益の墓と稱する古碑も一基ある。

海洋に面して避暑客に適當な旅館に曉鷄館がある。銚子驛からサービス自動車を往復させて

居る。玉突もあり、庭は直ちに激浪砂を噛み、壯快至極。

附近の名勝として、君ヶ濱、犬岩、海獺島、仙窟、屏風浦等がある。

此處で一寸、銚子磯めぐりを述べる。

大利根を左に見て、太平洋を右にひかえた銚子は、風光明媚、夏は海水浴に適して交通頗る恵まれて居る。

水難者供養の千人塚から海岸を東南に傳つて行くと、夫婦ヶ鼻の石門がある。その南の方は黒生の海水浴場で、附近には岩礁が多い。君ヶ濱は白砂青松の地で、俗に關東の舞子の濱と云はれる位である。犬吠岬は石切の鼻と云つて砂岩を出し、附近一帯は岩峭に荒浪が碎けて壯觀極りない。

燈臺は明治七年に建設され、海拔百七十尺、光力六十三萬燭光、光達距離十九哩半、霧警號の設備もある。

外川は漁村で、愛宕山には大三角測點があつて、四圍の風光を擅にすることが出来る。

で、兩國橋から銚子間の所要時間三時間、三等運賃一圓七十五錢で、旅館は銚子に銚子館、大新、川安などがあり、犬吠に鷹鷄館、犬吠館、御風館があつて、孰れも宿賃は、二圓から五圓迄である。

常磐線の風趣

さて常磐線に移り、上野驛を發車して、

■大洗海水浴場

がある。水戸から海岸迄電車で行き、所謂「大洗さまよ」に達する。上野から片道一圓五十九錢、三時間である。

磯濱町に屬する臨海の地であつて、太平洋の波を受けて壯麗であり、東北の海岸は實に好い海水浴場である。

附近に琴引瀧、烏帽子岩、鬼洗の澤などの勝景が多く、新鮮の貝魚は食膳に上つて美味頗る

感すべきものがある。

この海水浴場の後方に、大巳貴命を祭つた國幣中社の大洗磯前神社がある。水戸光圀の造營であつて、社殿は實に壯觀である。

●阿 漕 浦

常磐線石上から電車が来る。上野驛から片道一圓八十八錢。

●久 慈 濱 海 水 浴 場

常磐線大甕下車、上野から一圓九十五錢である。

●助 川 海 水 浴 場

上野から片道二圓十錢、助川海岸から東二町である。氣候も景色も湘南に酷似して居り、附近に高野山がある。更に、此の附近に

●河 原 子 海 水 浴 場

がある。下孫驛から東約十町である。

●鮎 川 海 水 浴 場

も河原子と同じで、平磯から助川に至る沿岸にある。下孫驛から東北二十町である。

●川 尻 海 水 浴 場

此處は漁業が盛んであつて、殊に鯉鹽辛の産額が多い。海岸は突出した嶮岩に松が生えて居るなど、なか／＼面白い。川尻驛から二十三町である。

●高 萩 海 水 浴 場

松原町に屬する沿岸であり、停車場は高萩にある。

尙、手網濱は松岡村大字赤濱の海岸の古稱であつて、古く萬葉集の詠にも入つて居る程の名勝である。

●大 津 の 濱

上野から四時間、勿來關の一つ手前、關東で下車して一里である。此の地は鮑の名産地であ

り、章魚もうまい。

質實な漁村風景の中に相當な宿屋もある。

湘南地方

さて、これは餘りに有名であるが、たゞ、それだとして除いては不便であるので、簡単にコースと賃錢だけを説明する。

●扇島海水浴場

鶴見で省線を臨港鐵道に乗り換へて終點である。東京驛から片道四十錢。

●逗子海水浴場

横須賀線、逗子驛より乗合十二町、東京から八十六錢。

●由比ヶ濱海水浴場

横須賀線、鎌倉から乗合自動車、東京から八十錢。

●片瀬海水浴場

東海道線、藤澤から江ノ島。東京から九十七錢。

●鵠沼海水浴場

小田急、江ノ島線鵠沼海岸、新宿から片道九十六錢。

●大磯海水浴場

東海道線、大磯驛南三町、東京から片道一圓七錢である。

●茅ヶ崎海水浴場

東海道線茅ヶ崎からバスに乗つて七町である。東京から片道九十三錢。

●小田原海水浴場

小田急、小田原驛から五町である。新宿から片道一圓三十六錢である。

山の魅力 武蔵野線

すこし山の方へ移つて、先づ手近かな武蔵野電車の沿線を探ぐる。

●奥 武 藏 野

天覽山、トノノス山、バノラマ臺、名栗川の名勝遊園地である。

池袋から電車で、飯能又は天覽山に到る。バス連絡で、天覽山迄池袋から八十六錢である。

武蔵野電車のクーボン式遊覧券によれば、第一種の入浴晝食附乗物旅館費一切で往復一圓八十錢。旅館は東雲亭である。

第二種が一泊二食附で二圓八十錢。旅館は同じく東雲亭である。

●名栗ラヂューム

池袋から電車で飯能に行き、其處からバスで名栗ラヂュームに到る。

これもクーボン式で第一種と第二種に別れ、第一種は大松閣で晝食入湯附で二圓五十錢、第二種は一泊二食で三圓四十錢である。

●富 岡 温 泉

これも池袋から飯能へ電車で出て、バスで岩藏富岡温泉前へ行くのである。

クーボン式の第一種は河村旅館で晝食入浴附で二圓第二種は一泊二食附で三圓である。

●岩 藏 温 泉

コースは前と同じであるが、クーボン式第一種は儘多屋旅館で晝食入湯附一圓九十錢、第二種が一泊二食入湯附で二圓五十錢である。

●奥多摩溪谷

池袋から電車で豊岡町に到り、バスで奥多摩御嶽に往復する。

これもクーボン式で行くと、射山溪の河鹿園で、第一種晝食附が二圓二十五錢、第二種一泊二食入浴附が三圓八十錢である。

これを同じ射山溪ぎんで鈴やると、第一種が二圓十錢、第二種が三圓四十錢となつてゐる。

●武 州 御 嶽

コースは前と同じである。御嶽神社取扱でクーボン式で行くと、第一種晝食附が一圓九十錢第二種一泊二食附が二圓七十錢で神靈の加護の下に、ゆつくり出来る。

■高山不動

池袋から電車で吾野に到る。高山不動常樂院で精進料理の晝食附クーボン第一種は一圓六十錢、第二種一泊二食附は一圓八十錢とある。二十錢で一泊と一食とを附加する點、流石に常樂院らしきがある。

■子の權現

コースは高山不動と同じである。子の權現の天龍寺で、第一種のクーボン式が精進料理の晝食附で一圓六十錢、第二種の一泊二食附が二圓である。

大山の靈峯地

靈峰大山は避暑と云ふよりも、キャンプで賑ふ。

コースは東京驛から東海道平塚へ出て、それからバスで大山山麓へ行く。これが平塚迄の汽車賃が一圓。平塚から山麓迄のバスが七十錢である。

も一つは小田急線利用である。新宿から伊勢原迄が九十八錢、伊勢原から大山山麓迄バスに乗つて三十五錢である。そして大山にはケーブルカーがあり、これが上りが三十五錢下りが三十錢、往復券で六十錢である。

大山の御社の大祭は、夏は七月二十七日から八月十七日迄である。

祭神は大山祇大神、大雷神、高龍神の三神であり、大山祇大神は所謂石尊大權現と稱し奉つて、富士祭神の父神様と云はれ、富士山に登つたものは大山に登るべきだとされて居たのである。

神韻豊かな幽邃境であつて、一般登山家の注目する處、四千三百尺の山頂に立てば、脚下に伊勢原、厚木が横はり、平塚、藤澤、大船、鎌倉迄、皆一眸の中に納まる絶景である。

日光をめぐつて

名勝地をめぐつて居るうちに、其の一箇所に避暑地を定めるのも興ある事である。で、先づ日光を見ずして結構と云ふな、と云ふ日光から述べる。

上野驛から日光は約三時間半、三等の片道二圓十三錢である。

東武電車で依つて、浅草から日光へ行けば約三時間、三等片道で二圓十三錢である。そして日光から、馬返間、日光電車の料金が片道四十錢。

●中 禪 寺 湖

湖畔には樹木が多く、夏の涼しさと云つたらぬ。

旅館はレーキサイドホテル、米屋、和泉屋、伊藤屋、橋本屋、大黒屋があつて、二圓五十錢乃至八圓迄ある。

●日 光

は云ふ迄もなく、東照宮のある處、旅館は小西本店、小西別館、大倉屋、三河屋、大野屋、美登屋、上州屋があり一圓五十錢乃至五圓が宿賃の相場である。

●湯 元 温 泉

中宮祠から自動車の便があり、硫黄泉である。

旅館は南間ホテル、板屋、米屋、渡邊等で、宿賃は二圓乃至四圓である。
男體山は中禪寺湖の北に聳えて、海拔八千三百尺、日光連山の主峰である。
中禪寺立木観音は湖畔南岸の歌ヶ濱にあり、眺望勝れて居り、此の邊り各國大使の別荘がある。

二荒山神社は大巳貴命外二神を合祀し、一千年前、勝道上人が勸請せられた古社である。
寺ヶ崎、上野島は、湖南の名所で、此の附近は静寂そのものゝ地である。

中禪寺湖上を西へ一里餘り行くと、帝室林野局養魚池がある。姫鱒、紅鱒、日本鱒等が泳いで居る。

東武電車線

東武電車で浅草驛を發して二時間と五十分で鬼怒川温泉に着く、賃錢片道二圓三十八錢、旅館は大瀧館、星野屋、麻屋、鬼怒川館、大出館等があり、宿料は二圓乃至五圓である。

●鬼怒川温泉

鬼怒川は溪谷の美がよい。關東の耶馬溪とも稱せられて居り、設備も頗る近代的で避暑には好適である。

鹽原の勝景

上野から三時間半で西那須野へ着く。その西那須野から電車で五十八分。

●鹽原温泉

である。西那須野迄の汽車賃三等片道二圓十四錢、西那須野から鹽原口迄の電車賃片道五十錢である。

宿賃は二圓から四圓で、旅館に(大綱) 佐藤(福渡戸) 満壽屋、和泉屋、磯屋、丸屋(鹽釜) 橋本屋(鹽の湯) 明賀屋、柏屋(袖ヶ澤) 霞土館(畑下戸) 紙屋、大和屋(門前) 宮田屋、坂本屋(古町) 米屋、會津屋(須卷) 須卷屋がある。

鹽原には鹽原十湯があり、全村四十五湯、十二勝、十六名所、七不思議等あり、加ふるに三十橋、七十瀑と云ふ名勝の地。

温泉は鹽類泉で、リウマチス、婦人病、胃腸病に效がある。

那須の硫黄泉

上野驛から四時間で黒磯に達する、黒磯から自動車で四十分で湯本に着く、これが、

●那須温泉

である。黒磯迄の汽車片道二圓三十錢、それからの自動車賃が一圓三十錢である。

那須野の奥の湯本北、辨天、大丸、三斗小屋、高雄股、板室を那須七湯と云つたが、更に八幡、旭、新那須、飯盛が加はつた。那珂川の清流を雲煙の間に望む處、絶好の温泉境である。

温泉の性質は酸性硬黄泉で、花柳病、皮膚病、脳病、神經諸病、リウマチスに効果がある。有名な那須の殺生石は湯川の奥に硫黄孔があつて瓦斯が噴出し、小禽、獸、昆蟲類が死ぬか

らで、芭蕉の句に

「飛ぶものは雲ばかりなり石の上」
があり、その碑が建つて居る。

宿賃は二圓から四圓迄、旅館は、

湯本に、小松屋、松川屋、立花屋、清水屋、和泉屋、八幡に 五十嵐、北に熊谷、辨天に
小村、大丸に 大高、板室に 大黒屋、加登屋、一井屋がある。

伊香保の夏

上野から澁川へ三時間、澁川から伊香保へ自動車でぐん／＼上つて二十分、電車だと五十分
掛るが、此處が武田信玄以來の名湯。

■伊香保温泉
である。

澁川迄の汽車賃片道一圓八十二錢、それから自動車だと八十錢、電車だと六十錢。新伊香保
と榛名間のケーブルカーが片道が六十錢、往復が一圓である。

伊香保温泉は、徳富蘆花の「不如歸」に餘りにも、榛名山と共に有名である。

温泉の性質は、ラヂウムの放射物、貧血病、痛風、慢性消化器病、慢性生殖器病、婦人病、
神経諸病に効果がある。

旅館は宏壯なものが多い。ちぎら仁泉亭、岸權旅館、伊香保ホテル、橋本ホテル、鑛榮館、香
山樓、福一旅館、森田館、吉田館、丸本館等で、宿賃は一圓五十錢から五圓、旅館の多くは階
段の上にあるが、下つて電車路へ出ると、麻雀あり、カフェーあり、暖味屋あり、温泉の氣風
と別に、享樂地帯を現出してゐる。

妙義と赤城

關八州を一望の下に見渡される金鷄山、それに馬の背渡、胎内くゞり等の奇勝のある妙義山



廣川原から小坂川の溪流傳ひは涼風自ら發する處である。

●妙義山

上野から四時間、松井田驛へ着く、この三等汽車賃片道一圓八十六錢である。それから妙義へ自動車を馳せる。これが五十錢。

旅館は大概一泊が一圓から二圓五十錢止まりで、菱屋、玉屋、東電館がある。序でに、

●赤城山

は、上野から前橋迄三時間、三等片道一圓六十七錢である。前橋から箕輪迄四里半あつて、自動車が一圓、箕輪から赤城湖畔が一里半、旅館は猪谷、青木で一日三食付二圓から三圓である。

この箕輪から赤城湖畔へは徒歩で一時間半かゝる。

お湯の中にも華

草津よいとこ 一度は おいで

お湯の中にも 花が咲く

●草津温泉

は此の歌で酒屋の小僧さん迄が知つてゐる。

南に榛名を望み、更に浅間の噴煙を望み得る草津温泉は、東國第一の名湯と稱せられて、松の湯を中心に、熱の湯、御床の湯(白旗の湯)、地藏の湯、鷲の湯等がある。

温泉の性質は、酸性明礬泉で、花柳病、皮膚病に特效がある上、胃腸病、眼病、痔疾、リウマチス、神経衰弱にも效くと云はれて居る。

指揮者があつて、時間湯は、一々其の號令に従つて一齊に入り、一齊に上るのである。上野を發して四時間で輕井澤へ着く。この三等片道が二圓八錢、輕井澤から草津の間が約三時間、

この三等片道が二圓七十六錢である。

宿泊料は大概二圓乃至四圓で、大東館、望雲館、日新館、大阪屋、草津ホテル等がある。

四萬、湯川、日向見の三川

上野から三時間、澁川と云ふと伊香保と同じコースだが、其處から自動車で一時間半。

四 萬 温 泉

に達する。この澁川迄の片道汽車賃が一圓八十二錢、それからの自動車賃が一圓八十錢である。

旅館は二圓乃至四圓で、新湯に養陵館、積喜館、日向見に日向見、玉泉館、山口に山口館、鐘壽館、三木屋、豊島屋がある。

この四萬温泉は、海拔二千五百尺の高地にあり、三方に峰巒を繞らし、南に四萬川の清流が流れて居る。

温泉は新湯を中心にして、下流に山口、上流に日向見がある。四萬川と湯川と日向見川の溪流の美は讚嘆すべく其の水聲は涼味満喫である。

温泉の性質は鹽類泉で、ラヂウムムエマナチランを含み、胃腸の諸病や皮膚病、脱臼挫傷、神経痛、婦人病等に特效がある。

富士五湖の涼味

富士五湖も、それ〴〵避暑には好適の條件を具備してゐる。

山 中 湖

遠浅であり水泳に適して居る。五湖中眺望一番開けて、ワカサギが釣れる。山中湖ホテル、忍野温泉があつて避暑に便利、室料は二圓乃至五圓である。

河 口 湖

は逆さ富士の名所。水泳、船遊に適してゐる。又、鶉の島、敷島の松、産屋ヶ崎等の絶景が

ある。

旅館は河口ホテルに船津ホテル、いづれも室料二圓乃至五圓である。

西 湖

以前は、本栖、精進湖と一つの湖であつたが、貞観六年富士山噴火により別となつた。北岸十二ヶ岳の奇勝を映發して實に美しい。

精進湖

富士の秀麗を望む絶景である。三方青巒に圍まれ、一方が樹海、非常に涼しい。旅館は精進ホテル、對岳樓、室料は二圓乃至五圓である。

本栖湖

青緑の湖面は、非常に美しく涼しく、鱒釣の名所、興趣頗る多い。この五湖めぐりは、新宿を發して吉田に向ふのである。吉田迄の時間二三時間で、それから富士登山をし、精進湖、河口湖と廻るがよい。乗物賃金は五圓三十四錢である。

温泉と特效

さて次に避暑地として温泉を選ぶ場合、その體質に應じて、それ／＼善處しなければならぬ。で、その交通と共に、特效を述べる。

磯部鑛泉

上野驛發、磯部驛下車北四丁で、片道運賃が一圓七十六錢。特效は胃腸病、神経痛である。

湯本温泉

常磐線で湯本下車、特效は皮膚病、眼病、胃病。

浅蟲温泉

青森縣にある。東北本線浅蟲下車、神経痛、胃腸病に特效がある。

●遠刈田温泉

宮城縣にある。東北本線大河原下車、特效は腦病、リウマチス、胃腸病。

●花巻温泉

岩手縣にある。東北本線花巻下車、特效は神経系統、胃病、婦人病である。

●湯野温泉

福島にある。東北本線伊達驛から電車、バスで行く。神経痛、脚氣、リウマチスに特效がある。

●飯坂温泉

福島縣にある。東北本線伊達驛下車、電車バスの便がある。特效は神経痛、脚氣、リウマチス。

●澤渡温泉

群馬縣にあり、上野から澁川驛へ、その片道料金一圓八十二錢、約三時間で達する。此處か

ら電車かバスで行く。

特效は、リウマチスと胃腸病である。

●吉奈温泉

東海道線三島驛で駿豆線に乗換へて修善寺で下車、バスがある。

旅館は東府屋がある。古來子寶温泉として有名で、非常に静かな温泉であり、脚氣、婦人病、消化器病に特效がある。湯がぬるいので、熱湯を嫌ふ人、湯に、しみぐ浸りたい人には絶好である。

●修善寺温泉

東海道線三島驛から駿豆線に乗り換へて修善寺で下車、温泉迄バスがある。

桂川の中央に湧出した大磐石を穿つて浴槽が作つてあり、之れを冷温二湯に區劃したものが獨鈷湯である。

その他、沿岸や川中に、河原湯、眞湯、杉の湯、箱湯、石湯など、すべて湧出口十五箇所

ある。

温泉の性質は鹽類泉であつて、皮膚病、リウマチス、神経痛、消化器病に特效がある。此處に、源頼家の墓が桂川の南畔高丘上にあり、源範頼の墓が桂川の北岸にあつて相對し、修善寺物語の悲劇を偲ばせるのである。

●長岡温泉

矢張り東海道線を三島で乗換へて、駿豆驛長岡で下車する。特效はリウマチス、慢性濕疹である。

●古奈温泉

長岡温泉の近くに古奈温泉がある。この古奈温泉の白石館は百パーセントサーヴィスを以て有名で、頗る大衆的である。

●畑毛温泉

東海道線三島驛乗換へ、駿豆線大場驛から東五丁である。

特效は腫物、皮膚病、リウマチスである。

●伊東温泉

熱海から南へ五里半、乗合自動車で一時間二十分である。賃金は一圓二十錢、も一つは熱海から海路二時間で達する。賃金は七十錢、今一つのコースは東京靈岸島を午後八時出帆の汽船を利用して、翌朝七時十五分に伊東に着くのである。この三等賃金二圓二十錢。

伊東は背後に天城の連山、前に相模灘があり、海水浴を兼ねた温泉である。宿泊料や物價の低廉なのは大いに宜しい。

温泉の性質は、ラチウム含有の鹽類泉で、胃腸病、腦病、關節炎、皮膚病、婦人病、神経痛によい。

宿泊料は一圓五十錢乃至五圓で旅館に、伊東館、暖雪園、柵屋、松林館、湯本館、山田屋、東京館、松川館等がある。

清閑な温泉郷

東京から二時間で達する。温泉に

湯河原温泉

がある。

清閑な温泉郷で、性質は鹽類泉で、ラヂウム（放射能）の放射能があり、リウマチス、痔疾、胃腸病、呼吸器病、婦人病、打撲傷等に特效がある。

附近に、湯河原公園、見付の松、不動の瀧、養生園、清瀧等の名所がある。

宿賃は一圓五十錢乃至六圓、旅館に天野屋、富士屋、湯河原ホテル、中西、藤田屋、箱根屋、伊豆屋等がある。

旅費は東京湯河原間三等片道が一圓五十一錢、二時間足らずで行けるのである。

伊豆山の鹽類泉

熱海の東北十八町の地に、三面は山で、相模灣に臨むのが

伊豆山温泉

である。温泉量が非常に多く、無色透明の鹽類泉で、胃病、リウマチス、臍病、中風症、ヒステリー、神経衰弱等に特效がある。

宿賃は二圓五十錢乃至五圓で、旅館に相模屋、伊豆山、中田屋がある。

現今の唐人お吉

伊豆の下田に長居はおよし

綿の財布が軽くなる

と云ふ、伊豆の下田は修善寺からバスが通つて居る。このバスが天城の横を通る時の景色のよさは云はん方ない。

下田港

此處に、唐人お吉の

かごで行くのは、お吉ぢやないか

と下田情調を味はふのもよいし、吉田松陰先生で有名な辨天島の風光を賞するのもよい。

玉泉寺にハリス駐在の遺蹟をたづね、了泉寺に安政假條約の歴史を想像するのも面白いが、此の了泉寺にあつたエロ珍品が近來、嚴封せられて一般に開放されない事は旅人の興を甚だしく損ずる。

了泉寺へ行く道、細い川を挟んでエロ街は展開して居り、現代の唐人お吉が隨所に嬌笑を以て招いてゐる。

船で行けば、東京から下田間往復四圓、途中、大島へ立寄れる便宜がある。が、船に弱い人は陸路を行くべしである。

宿賃は一圓五十錢乃至五圓、旅館に平野屋、阿波屋、山田屋、清水屋、下田屋がある。

奥伊豆を突く

この下田から近くに蓮臺寺がある。これこそ松陰先生が渡航を策された由緒ある土地。

●蓮臺寺温泉

は無色透明な無臭の温泉である。石橋、石橋別館など感じのよい旅館がある。

●大澤温泉

南伊豆の西海岸田子村の東にあつて、泉質は鹽類泉、金創挫傷に特效がある。

●河津温泉

下田の矢張近くの下河津村にある。東京灣汽船の着陸點から十數町である。下田へは三里半、この地は曾我兄弟の父なる、河津三郎の遺跡として名高く、青石、薪炭の産地である。修善寺から下田へ来る途中に、

●船原温泉

がある。温泉の性質は鹽類泉であつて、梅毒、皮膚病に效がある。船原ホテルがある。

●湯ヶ島温泉

これも、伊豆の温泉の一つ。鹽類泉で梅毒、皮膚病に特效あり、伊豆らしい情趣がある。

■土肥温泉

以前は、沼津から船で行つたものであつたが、今は陸路からも行ける。舊鑛坑であると言ふ底知れぬ洞穴から湧出するから一名、穴の湯とも云ふが、温泉の性質は鹽類泉で、男女混浴、なか／＼風趣ある處である。

戸田とは、へだ

修善寺から東警女峠を経て、四里八町、東京帝大の水泳場のある處。

■戸田海水浴場

の戸田はへだと讀むのである。戸田は伊豆の西岸中では一番の良港で、下田と沼津間の汽船は毎日寄港して交通に便利である。

此處は安政元年十一月、下田港に碇泊中の露國の軍艦が一隻、海嘯の爲めに難波したので、幕府の許可を得て、天城山の木材を伐採して、帆前船を造つた土地、そして、それで露人は歸國したが、此の事件は我邦造船史上に特筆すべきものであつて、その爲め、後に、我國で有名

な造船術の先覺者は多くは此の土地から出たのであつた。

箱根總まくり

さて其處で有名ではあるが、箱根の温泉を一寸述べる。

箱根へは東京から小田原間、一時間四十二分で、賃金は三等で一圓三十一錢である。それから、湯本、宮の下、小涌谷、蘆の湯、箱根、蘆の湖上(遊覽船)、湖尻、仙石、宮の下、小田原と廻遊すると約三時間半、自動車は二割引の廻遊券があつて三圓五十錢である。

箱根の温泉は、腦病、婦人病、皮膚病に特效があり、湯本には福住、小川、住吉、古川屋の旅館があり、附近の名勝として早雲寺宗祇法師の墓がある。

塔の澤には旅館が一の湯、福住樓、興喜屋があり、附近の名所は湯坂山である。

宮の下には富士屋ホテル、奈良屋があり、附近に御用邸があり、明治大帝駐輦の跡がある。底倉には、旅館として仙石屋、梅屋、葛屋があり、附近の名勝舊蹟として、太閤の石風呂、

高山園、八千代橋がある。

堂ヶ島には無想因師閑居の跡や、松ヶ岡遊園地があり、旅館に大和屋、對星館がある。

強羅(宮城野)には強羅公園、碓氷峠があり、旅館として観光、一福、倉田、小高庵、古濱頓狂(早雲山驛前)等がある。

木賀にはルボン將軍の碑があり、湯瀧がある。宮内旅館が此の地にある。

小涌谷の宿屋としては三河屋である。附近に一目千本櫻、新羅三郎義光留塚、鷹巢公園がある。

仙石は碓氷峠、金時山、乙女峠、ゴルフコース等で名高く、仙郷樓、俵石閣、仙石上湯、萬岳樓がある。

蘆の湯の旅館として紀伊國屋、松坂屋であるが、附近に曾我兄弟虎御前の墓、弘法大師作二十五菩薩、六道地藏、多田滿仲の墓がある。

元箱根には、箱根神社、倒富士、大江廣之の墓、蘆の湖、賽の河原、杉並木、舊街道を或は

參詣し、或は眺むべきであり、旅館には武藏屋、金波樓、橋本屋、松屋等がある。

箱根町には關所跡があり、考古館(關所遺物の在る處)があり東七面山を眺むべきである。旅館に箱根ホテル、古谷旅館がある。

湖尻には、深泉の水門、倒杉の名勝がある。旅館とすべきは、モーターボート發着所である。

奥多摩の奔流

此處で、秩父連山の奥に發した奔流奥多摩川の上流地方。

■奥多摩

を述べる。奥多摩には、雲取山、大菩薩嶺、飛龍嶽、唐松屋など云ふ二千米以上の靈峰が連つて居り、それが秩父甲信の山脈へと連つて居るのである。溪谷には奥多摩溪谷、丹波山溪谷、落合、三條谷、泉水谷等がある。

新宿から御嶽驛間の三等貨錢片道が九十二錢約一時間半で達する。

御嶽から、御嶽下へ自動車（自動車）が十五銭、水香園（松の湯）へ二十銭、萬世橋（萬世橋）へ三十銭、鳩の巢へ五十銭、數馬（白丸）へ七十銭、海澤橋へ七十銭、氷川へ七十銭で行く。
この各地に、それ／＼一圓五十銭位の旅館がある。樂々園驛ホテル、多摩山莊は室料が二圓乃至三圓である。

秩父赤壁—長瀨

上野を發し熊谷へ一時間十分、それから熊谷から長瀨へ一時間、そして、

■秩父長瀨

に達する。上野、熊谷間の三等片道九十七銭、熊谷長瀨間三等片道七十五銭である。

長瀨から波久禮下りは八人乗り船夫付で貸切一艘が六圓。

も一つのコースは、東上線寄居驛乗換で、長瀨驛下車である。

此の池袋、寄居間が三等片道一圓三十四銭で、一時間四十分を要する。

旅館は長瀨館、一泊三圓である。

此の長瀨は百尺の懸涯が轟々聳立して、荒川に臨む所や、流水が大岩に遮られて深淵をなす處が三町餘りもあるので、恰度支那の赤壁の如く、秩父赤壁として天下に名高い。

三峯山の社殿

上野から乗車して一時間十分、熊谷に達して（此間運賃三等片道九十七銭）それから、三峯山口に到るには二時間を要する、（此間等片道一圓三十五銭）それから自動車で大輪間へ行くのに片道三十銭、此處が

■三峯山

である。

山麓に登龍橋がある。登攀五十二町で海拔三千餘尺の高い處に建つた本殿に達する。

三峯とは、雲取、白石、妙法の三岳を總稱したものであつて、社殿は宏莊、伊弉諾尊、伊弉

冊尊の二柱を祭つてある。今は縣社となつてゐるが、昔は天臺宗を奉ずる佛閣で高雲寺と謂つた。

景行天皇四十二年日本武尊の御創建であつたが、文武天皇の御宇、役の行者が來て佛法を修行し、天長年間には僧空海、つまり弘法大師、此の地に十一面觀世音を安置したなどの縁故から、遂に一時は佛寺であつたのである。

この三峰山は養蠶家の信仰厚く、その守札は鼠害を防ぐと云ひ傳へられてある。

プールの場所

最後に少年の爲めにプールの存在地を述べる。

芝公園プール——市電、増上寺前下車

月島公園プール——市電、月島西仲通下車

日比谷公園プール——市電、日比谷下車

隅田公園プール——市電、山の宿東側下車

濱町公園プール——市電、濱町河岸下車

神宮外苑プール——省線、千駄ヶ谷東一町、東京驛から十錢

明大プール——(屋内)市電、駿河臺北半町

帝大プール(屋内)市電、赤門前、帝大構内

YMCAプール——(屋内)市電、神田駿河臺下車

YMCAプール——(屋内)市電、美土代町下車、基督青年會館

豊島園プール——武藏野線。豊島園内で、池袋から十四錢

井ノ頭公園プール——省線吉祥寺南五町、二十錢、若くば澁谷から帝都電鐵

石神井プール——武藏野線、石神井下車東三町、二十錢

野方プール——西武電車、村山線新井薬師から北へ三丁、七錢

玉川プール——玉川電車、二子玉川驛西三町、澁谷から十六錢である

夏のラブ

昭和十年七月五日印刷
昭和十年七月一日發行

定價十錢

著者 松波治郎

東京市小石川區西丸町九

印刷人兼 高山菊次

發行所

東京市小石川區
西丸町九番地

第一百通信社

電話大塚(86)二〇三八番
振替東京五六一四三番

終

